

平成19年度 フッ化物洗口普及モデル事業実施報告書

市町村名	成田市	郡市歯科医師会名	印旛郡市歯科医師会
------	-----	----------	-----------

実施施設等				
基盤整備	保育所	幼稚園	小学校	中学校
0	0	0	1	0

1. フッ化物洗口に関する前年度までの経緯

むし歯予防推進指定校以降、毎年学校歯科医によるブラッシング指導や講話等を児童、PTA、教員に対して行って来ました。その成果もあり着実にDMFの低下が見られましたが、このところその低下がみられず、増加することもありその対策としてフッ化物洗口の推進を協議してまいりました。19年7月に学校歯科医による教員に対する講義（一般歯科的内容+ブラッシング指導）がありました。11月には20年度入学のPTAに対して講話（一般的内容+就学時健診の総評+フッ化物洗口）、12月と20年1月に教員に対して2日間でフッ化物洗口に対する講義と実際の洗口を行いました。PTAに関しては、フッ化物洗口に対する講話と2回リーフレットの配布を行いました。2月に入りフッ化物洗口に対するアンケート調査を行い2月28日洗口練習後、3月5日にフッ化物洗口を開始しました。

2. 推進体制づくりの経緯

実施事項	具体的な内容	評価
洗口推進会議	毎年行われる歯科健診のデータを分析し、さらなるDMFの低下のために、フッ化物洗口を行うことで、校長、養護教諭、学校歯科医で会議を重ねる。	出席者にフッ化物洗口の有効性と安全性が理解され実施に向けて共通の理解が得られた。

3. 施設における取り組み内容

施設① 成田市立本城小学校 児童数264名・職員数31名		
実施事項	具体的な内容	評価
職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ・19年7月26日、12月21日学校歯科医によるフッ化物に関する講演を行う。 ・20年1月16日職員の洗口練習を行う。 	講師の話がとてもわかりやすかったのでフッ化物に関してよく理解できた。洗口体験は有効だった。
保護者説明会	<ul style="list-style-type: none"> ・1月31日保護者に対して学校歯科医によるフッ化物に関する講演を行う。 	フッ化物が歯にいいことは知っていたが、何故いいのか理解ができた。洗口体験は有効だった。
アンケート調査	2月フッ化物洗口に関するアンケート調査を行う。	

4. 問題となったこと・今後の課題とその対応について

インターネットなどに誤った情報が多く流れていて、不安に思う職員がいたが、学校歯科医による講演と洗口体験で問題なく始められた。来年度の洗口に対して予算が付くかが心配。1, 2年の内に予算がつくように教育委員会と話し合っていきたい。

5. 20年度以降の事業の予定・市町村事業としての予算化の有無

今のところ無し。

6. 活用した参考資料や文献

名 称	概 要	活用場面	費用や入手先等
・フッ化物洗口マニュアル	フッ化物洗口の実際、洗口実施プログラム、実施にあたっての留意点、器具器材の準備、費用等。 } むし歯予防のポイント。 } フッ化物のむし歯予防効果。	基盤整備の際参考	千葉県歯科医師会
・パンフレット(千葉県)		職員研修及び保護者へ配布	千葉県歯科医師会 千葉県歯科医師会
・リーフレット(千葉県歯科医師会)			

7. 記録写真等

